

# 農大だより

## 入学式

4月9日(水)

4月9日(水)に令和7年度入学式が挙行されました。今年度は、園芸学科野菜コース16名、花きコース2名、果樹コース6名、畜産学科5名、合計で29名の学生が入学しました。

式では、酒井 浩校長から「学びや実習、寮での共同生活を行っていく中で、数多くの失敗や困難に直面することもある。その一つ一つが皆さん自身を成長させ、未来への大きな一歩となる。仲間たちと助け合い、時には自分自身を信じながら失敗を恐れず果敢に挑戦してください。我々職員は皆さんを全力でサポートし、共に夢や目標を追求するパートナーである。」との式辞がありました。

学生を代表して学生会長の川尻琥大朗さんから「本校で学んでいく過程で様々な人と出会い、楽しいこと、嬉しいこと、時には辛いことなどもあるかもしれませんが、しかし、仲間と共に協力することで乗り越えることができます。お互い切磋琢磨し成長して行きましょう。」と歓迎のことばがありました。新入生を代表して谷崎遼翔さんが「長崎県の農業の発展に貢献できる人材となるために、何事にも積極的に取り組んでいきます。」と力強い誓いがありました。



コチョウランのフラワーアレンジ (花きコース)



式辞を述べる酒井校長



歓迎の挨拶をする川尻学生会長



入学の誓いをする谷崎さん



令和7年度 新入生一同

ホームページにも最新情報満載!!  
URL : <http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/noudai/index.html>



読み取ると農大HPへリンクします!

## 新入生研修

4月17日(木)

新入生研修を本校体育館で実施しました。昨年度から本校の体育館での実施となり、午前中は諫早消防署の指導のもと集団訓練やロープワークを行いました。ロープワークはなかなか要領を得ず、悪戦苦闘しながらの学びでした。

午後からは各種ゲームやレクリエーションで交流を深めました。この研修で互いが協力し、心を開ききっかけとなりました。協力することの大切さ、仲間を思いやることの大切さを学び、とても有意義な研修となりました。



集団訓練の様子



ロープワークの様子

## JA等就職説明会

5月20日(火)

5月20日(火)13時30分から農大主催の就職説明会が本校体育館で行われました。参加者は全学生の68名で、事業所の説明に熱心に耳を傾けていました。参加された事業所は、JA長崎せいひ、JAながさき県央、JA島原雲仙、JAながさき西海、南島原市、佐世保食肉センター、長崎県新規就農相談センターの7団体でした。



耳を傾ける学生たち



事業内容を説明するJA職員

### 参加した学生の感想

- ・JAに入って営農指導員として他の農家さんの経営を見てから就農するのも良いと感じました。
- ・JAという存在は知っていたが、業務内容までは知らなかったのが新鮮でした。安価での研修制度があって利用したいと思いました。
- ・南島原市では補助事業をはじめ様々な支援をしていることを知り、良い経験ができました。
- ・わからないことだらけでしたが、団体の方々が詳しく説明されていて、就職や就農などの知識、JAや新規就農相談センターでどのようなことをしているのかを知ることができ、良い体験ができました。
- ・3つの団体の話を聞いて、どの団体も長崎の農業のためにできることを探しており、その過程で人員不足が多いので、私たちも少しでも協力できるようにし、少しずつでも発展できるようにしていきたいです。

発行日 令和7年7月10日 Vol.1  
発行者 長崎県立農業大学校  
所在地 〒854-0062 諫早市小船越町3171  
TEL 0957-26-1016 FAX 0957-25-3871  
E-mail : [noudai@pref.nagasaki.lg.jp](mailto:noudai@pref.nagasaki.lg.jp)

## 第1回オープンキャンパス

5月24日(土)

5月24日(土)第1回オープンキャンパスが実施されました。県内の高校より31名の生徒が集まりました。

まず本校の2年生から各コース・学科についての紹介があり、その後、各学科・コースに分かれて実習および体験が行われました。

最後に、飛雲寮に移動して、学生が生活している寮を見学し、食堂で昼食のカレーを食べて、すべての日程を終了しました。

オープンキャンパスに参加された生徒の感想は下記の通りです。



各学科・コースを紹介する学生



果樹コースの体験



花きコースの体験



野菜コースの体験



畜産学科の説明



寮の食堂で昼食

### オープンキャンパスに参加した生徒の感想

- ・オープンキャンパスは2回目、2回とも野菜コースに参加した。農大は農場が広く、ハウスも多いため野菜の勉強が高校よりもできるところが良いと思った。先輩や先生方も優しく、農大に入学したいと思った。
- ・農業大学校の入試のことや大学校で学ぶことを知り、農業大学校に入学したくなりました。
- ・今までわからなかったことや、新しく変わる点について知ることができた。体験ではフラワーアレンジができたので楽しかった。

# 学生会総会

5月20日(火)

学生会総会が5月20日(火)に体育館で実施されました。令和6年度の事業および決算報告が各委員からされました。また、7年度の事業計画および予算案も承認されました。学生会の活動が今後、ますます活発になることを期待します。



総会の様子



挨拶をする川尻会長



承認された学生会役員



説明をする板山生活委員

- 学生会役員
- 会長 川尻 琥大朗
  - 副会長 永尾 颯太
  - 〃 山下 柚季
  - 〃 山口 隼人
  - 書記 綾部 蒼也
  - 会計 徳永 琢真
  - 監事 森高 駿
  - 生活委員 板山 駈
  - 文化委員 住田 晃人
  - 防火安全 田崎 孝太
  - 体育委員 森本 翔真

## ポスター投票

8年度学生募集用ポスターを決める投票が5月9日(金)に行われました。3社からポスターデザインが提出され、学生及び職員が投票をしました。

その後、学生募集資料検討委員会が行われ、デザイン、予算、投票結果などを総合的に判断し、右のデザインが採用され、6月中旬に完成しました。

今後、農大のPRに大いに活躍してくれることでしょう。



### ポスターのコンセプト

若い世代に対して農業の持つ可能性と未来への広がりを感じさせることを目的とし、キャッチコピーに「It's show time」とした。このコピーは「It's show time」をもじったもので「さあ、これから農業の時間だ」というワクワク感と自ら行動する能動的な姿勢を表現している。

# 第38回九州地区スポーツ交歓大会

5月16日(金)

5月16日(金)豊後大野市大原総合体育館(大分県)を主会場として、スポーツ交歓大会が実施されました。参加校は福岡、佐賀、長崎、熊本、大分の5校で約440名の参加がありました。本校は学生及び職員で76名が参加し、4競技に出場しました。競技の結果、ミニバレー、ソフトボールが準優勝、バドミントン男子が3位でした。



準優勝のミニバレー



準優勝のソフトボール



三位のバドミントン



健闘したバスケット



ホテルの夕食も美味しく頂きました



閉会式後、全員で記念撮影

# 1年生農家等派遣研修

6月11日(水)~

6月11日(水)から1年生農家等派遣研修が7泊8日の日程で実施され29名の学生が参加しました。目的は「農家の生活を体験することで、農業への興味と理解を深め、学習目標設定の促進に資すること」です。5月21日に担当の松尾祐輝講師より事前指導を受け、参加する全員の前で1人ずつ決意表明をしました。

11日(水)飛雲寮での出発式で酒井校長から激励の挨拶がありました。学生代表の音頭で「がんばろう！」コールをしてから目的地に向かいました。

今回の農家等派遣研修は、県北振興局管内へ4名、県央西海事務所管内3名、県央振興局管内10名、島原振興局管内12名でした。



出発式であいあつをする酒井校長



「がんばろう！」コールで意気込む学生



県央振興局管内の受入式



受入式で挨拶をする淵副校長



受入式で挨拶する学生



受入農家さんからの挨拶

### 農家等派遣研修に参加した学生の感想

- ・農大の実習では栽培することのない品目や他県への出荷作業・田んぼでの作業について体験することができました。
- ・この研修で、「物事を柔軟に考えること」、「広い視野・視点を持つこと」、「作業を効率的に行うこと」などの大切さを学びました。
- ・この派遣研修で学んだ技術を学校生活で少しでも活かし成長し、日本の農業の力になれるような人間になりたいと思います。
- ・畜産は生き物を相手にする職業なので、規則正しい生活を送ることの大切さやスムーズに作業を進める上でのコミュニケーションの重要性を学びました。

# 野菜コース



荒木 洸音  
(諫早農業高卒)  
雲仙市

「アミノ酸の葉面散布がメロンの品質へ及ぼす影響について」

品種は「アポロン」を用い、着果後にアミノ酸を葉面散布することで糖度の高いメロンができないか調査しています。収穫調査が楽しみです。



稲田 幹久  
(島原農業高卒)  
島原市

「育苗方法の違いがきゅうりの生育・収量に及ぼす影響について」

3つの品種を用いて接木苗と自根苗、ケイ酸カリ添加苗を栽培しています。苗の違いが生育・収量に影響するか調査しています。



井上 裕太  
(諫早農業高卒)  
諫早市

「基肥の違いが秋冬だいこんの生育および収量に及ぼす影響」

播種時期の異なる4つの品種と「レコアップ」「ぴったしレコ」「大根特号」の3種の基肥の違いで生育・収量への影響があるのか調査しています。



岩永 飛鳥  
(諫早農業高卒)  
長崎市

「葉菜類における低コストの効果検証」

今現在肥料等の農業資材が高騰しています。その中で、低コスト肥料で葉菜類を作れるのかを調査しています。

# 卒論テーマ特集号～その1～



片岡 拓海  
(島原農業高卒)  
南島原市

「緑肥を利用したかぼちゃの不耕起栽培の検討」

マメ科緑肥を切り倒しての不耕起栽培による省力化と病気に強い品種を用いて生育・収量等を調査しています。



川尻 琥大朗  
(西彼農業高卒)  
西海市

「いちご「恋みのり」における採苗時期の違いが生育・収量等に及ぼす影響」

いちごは栄養繁殖し、鉢受けで育苗をします。そこで、鉢受けした時期の違いで生育収量に差が出るのか調査しています。



城戸 小梅  
(長崎北陽台高卒)  
長崎市

「肥料の違いがハクサイの生育に及ぼす影響」

化成肥料、鶏糞肥料、豚糞肥料、魚由来肥料の4つの肥料を用いて、生育にどのような差が出るのか調査しています。



坂口 瑠奈  
(北松農業高卒)  
佐世保市

「玉ねぎの基肥と品種比較」

基肥と品種の違いが玉ねぎの生育や収量にどのような影響があるのかを調査しています。



住田 晃人  
(諫早農業高卒)  
諫早市

「ブロッコリーの時期による品種ごとの生育の違い」

秋作と春作で3品種を栽培し、どの品種がどの時期に生育が良く、適しているのか品種の調査をしています。

# 花きコース



山口 海成  
(諫早農業高卒)  
諫早市

「天敵農薬とUV-Bを用いたカーネーションのハダニ防除について」

ハダニの天敵であるミヤコカブリダニとUV-B（紫外線B波）を用いたカーネーションのハダニ防除の効果について検討しました。



山下 柚季  
(西彼農業高卒)  
長与町

「短日期における切花ヒマワリの栽培について」

切花ヒマワリの周年栽培を目指し、短日期における加温の方法や数種の光源をもちいて長日処理（電照）を行う方法について検討しました。



渡辺 来実  
(西彼農業高卒)  
時津町

「グロリオサの栽培期間中における球根肥大の観察方法と球根肥大開始時における追肥の影響について」

通常では見ることができない栽培期間中における球根肥大を観察する方法を考案し、これによって確認できた球根の肥大開始時に行った追肥の影響について調べています。

# 果樹コース



宇都 颯真  
(西彼農業高卒)  
佐世保市

「露地「不知火」果実へのフレッシュ・エバー並びにPプラスによる貯蔵性の検討」

自家で栽培している完熟「不知火」の貯蔵中の腐敗果の発生を5%減少させることを目標にプロジェクトに取り組んでいます。



永尾 颯大  
(諫早農業高卒)  
長崎市

「ハウスビワにおける大玉・高品質果実の生産技術の検討」

ハウスビワの誘引角度による着花促進、人工授粉による種子の増加、袋掛け時期の違いが品質に及ぼす影響などの試験に取り組み、大玉で・高品質な果実生産を目指して頑張っています。

# 畜産学科



綾部 蒼也  
(島原農業高卒)  
島原市

「哺乳子牛の下痢対策による発育改善」

発育良好な子牛育成のため、哺乳期間中の下痢対策として効果があるとされるバナナ成分を含んだ代用乳・人工乳を給与し、哺乳子牛の発育に及ぼす影響を調査しています。



板山 駆  
(島原農業高卒)  
南島原市

「和牛若齢肥育における枝肉成績の向上」

肥育経営では、飼料・資材等の高騰の中、経費を抑制し、販売額を上げることが重要です。そこで一般の去勢牛肥育期間より約3ヵ月短縮しても遜色ない枝肉成績を目指しています。

# 卒論テーマ特集号～その1～



岩本 清花  
(諫早農業高卒)  
雲仙市

「購入乾草の配合割合が子牛の発育に及ぼす影響」

購入乾草の種類や配合割合により、子牛の発育は異なってくるのではないかと考え、農大の購入乾草の配合割合を変えて、子牛の発育に及ぼす影響について調査しています。



金子 照英  
(北松農業高卒)  
松浦市

「イタリアンライグラスの倒伏に関する播種量及び施肥量の影響について」

イタリアンライグラスの収穫前に倒伏が多発すると収量や品質に影響を与えます。そこで、作付け時の播種及び施肥量の違いが倒伏に及ぼす影響を調査しています。



川村 聖斗  
(北松西高卒)  
小値賀町

「経産牛肥育の肉質に発酵粗飼料給与が及ぼす効果」

繁殖経営では、経産牛を肥育・出荷する農家が増えていますが、枝肉成績が低い傾向であるため一般的な給与に発酵粗飼料を加え、その効果を調査しています。



香田 琢真  
(島原農業高卒)  
雲仙市

「RORD TO ZENKYOU (プロローグ)」

令和9年の第13回北海道全共(特別区)への出場を目指して、出品候補牛を生産・確保し、必要とされる飼養管理技術や出品技術を習得し、その成果を後輩に伝承します。



八木原 悠太  
(北松農業高卒)  
平戸市

「新後継牛育成マニュアルの検討」

優良な繁殖雌牛に育てるために、育成雌牛専用の配合飼料を給与するとともに、調教や放牧を取り入れた農大の新繁殖雌牛育成マニュアルの作成に取り組んでいます。

## ～農大からのお知らせ～

農大では、10月18日(土)に第2回オープンキャンパスを開催します。たくさんのご参加をお待ちしております。

詳細は、農大教務課まで!

☎ 0957-26-1016

### 今後の主な行事

- ・7/ 7~11 2年生国内研修旅行(北海道)
- ・7/12~13 農大体験カレッジ
- ・7/25 1年生諫早川まつりボランティア活動
- ・7/28~7/30 前期試験
- ・8/18 高校職員対象オープンキャンパス
- ・9/11~12 九州農大親善体育大会(長崎)
- ・9/24~10/23 2年生農家等派遣研修
- ・10/18 第2回農大オープンキャンパス
- ・11/15 飛雲祭